

No.436

こくさいうちゅう  
国際宇宙ステーションを見よう！

「国際宇宙ステーション」は、現在6人の宇宙飛行士が宇宙で生活しながら、工学や医学などの実験や研究、地球や宇宙の観測などを行っている実験施設です。この5月には船長（コマンダー）として活躍した日本人宇宙飛行士の若田光一さんが、6ヶ月間の滞在ののち無事地上に帰ってきたことでも話題になりました。

国際宇宙ステーションは、遠い宇宙にあると思っておられるかもしれませんが、実際は地上から約400km離れたところにあり、そんなに遠くありません。富山から北海道や九州まで行くよりも近いのです。

国際宇宙ステーションは地上から肉眼で見ることができます。夜空にとっても明るい光の点として、飛行機と同じように動いて見えます。飛行機と違うのは、点滅をしないこと、そして点にしか見えないことです。色は、太陽の光を反射して黄色からオレンジ色、また明るさは、夜空でいちばん明るい星と同じくらいです。見えるのは5分間くらいでたいへん短く、しかも毎日見られるわけではありませんので、インターネットなどであらかじめ見られる日時と方角を調べておく必要があります（※下記参照）。

望遠鏡を使うと、国際宇宙ステーションの形を見ることができます。富山市天文台にある天体望遠鏡では国際宇宙ステーションを追いかけながら見ることができますので、天文台のホームページで紹介している国際宇宙ステーション観測会の日時に合わせて来て下さい。若田さんも行ってきたあの国際宇宙ステーションが、本当に自分の頭の上の宇宙にあることが実感できますよ。（林忠史）



国際宇宙ステーション

(画像提供：NASA)

富山市天文台の望遠鏡で撮影した  
国際宇宙ステーション (2014年4月12日)

※国際宇宙ステーションが見える日時の予報ページ (JAXAの『「きぼう」を見よう』のページ)

<http://kibo.tksc.jaxa.jp/letsview/visibility1/index.html> (ページ内で観測地を選んでください。)